

県会議員 奥村のり子の
読者ニュース



2014年6月8日 第134号

——奥村のり子生活相談所——

〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場1-11

☎ & F A X 073-427-7121

Eメール w-jcpken@naxnet.or.jp

「米軍も参加する自衛隊統合防災訓練
全容を公表せよ」と県知事に申し入れ



6月4日午前8時30分貴志川の上空を2機のヘリコプターが飛んで行きました。昨日は県庁上空を轟音とともにヘリコプターが通過しました。

5月28日自衛隊の統合訓練の連絡が突然ありました。市会議員にも和歌山市に確認してもらいましたが、訓練の内容が分らない状況でした。

国会では集団的自衛権行使の容認について国民が非常に不安に感じているなか、米軍も参加する自衛隊の訓練が突然行われることに対して怒りを感じます。県議団では急ぎよ、5月30日知事に申し入れを行いました(写真上)。申し入れの全文は奥村のり子のブログ「ぴよんぴよん日記」に掲載してい

ますが一部を紹介します。

「私たちは自衛隊の防災訓練に反対するものではありませんが、在日米軍が参加することには反対します。なぜなら在日米軍の災害時における支援活動は極めて不確実であり、米軍参加を前提にした訓練は、かえって実際の災害に当たつての対応に問題を生じかねません。また、新型輸送機オスプレイの参加なども持ち込まれ、訓練拡大への地ならしにもつながります」

ほかにも、関係自治体や住民への事前説明もないやり方などの改善を求め、「全体像を県民にあきらかにせよ」と申し入れました。

訓練が行われたところでは、訓練の市民への影響などぜひお知らせ下さい。ご意見などもお寄せ下さい。

(のり子)

「司法は生きていた」と言う画期的な「原発判決」

「原発銀座」と言われる福井の地裁で関電大飯原発3・4号機の運転差し止めの判決は画期的でした。人の命を基礎とする「人格権」こそ憲法上の権利であり(13条・25条)、「これを超える価値を他に見出すことはできない」「人格権そのものに基づいて侵害行為の差し止めを請求できる」として原発の危険性を認め運転差し止めを下した！ 原発は、「いったん発生した事故は時の経過に従って拡大していく(本質的な)性質を持つ」と指摘。関電の「想定される最大の地震の揺れが大飯原発に到来しない」との主張は、「本質的な危険性についてあまりにも楽観的と言わざるをえない」と断罪。国民の命よりもコストを優先する主張は、「極めて多数の人の生存に関わる権利と電気代の高い低いの問題とを並べて論じるような議論に加わったり、その議論の可否を判断すること自体、法的には許されない」と葬り去った。

原発は本質的に危険なもので、大きな自然災害や戦争以外では大量の人格権を奪われる可能性は「想定しがたい」。だからこそ危険性が万が一でもあるかどうかの判断を避けることは「裁判所に課されたもの」とも重要な責務を放棄するに等しい」とまで述べるほど関電の主張は「ことごとく断罪され日本のどこ」の原発にもあてはまる判決です。テレビや新聞の写真で福井地裁前の弁護団の垂れ幕に「司法は生きていた」とあったのがすごく印象に残った。これを力に「原発ゼロ」の運動を加速させましょう。(編集室)

のり子の週刊日誌 (主なもの)

- 6月 6日 市駅前早朝宣伝、当局事業説明、会議
- 7日 山下芳生書記局長と語るつどい
- 8日 城北小学校同窓会、会議、楠見後援会堂鑑賞
- 9日 議案調査、税と社会保障の一体改革政府説明
- 10日 定例議会開会
- 11日 議案調査
- 12日 議案調査、無料生活相談

猛暑の中の街宣

5月末の猛暑の中、奥村のり子県議、坂口多美子さん(次期市議選立候補予定者)と一緒に街頭宣伝を行いました。当日は「拉致被害者救出」に日本・北朝鮮間で一定の合意ができた、とマスコミを賑わしていた日です。

また和歌山県が行う「防災訓練」の名の下に米軍・自衛隊が訓練参加の詳細な内容が知らされた日でもありました。

安倍内閣のもとで集団的自衛権発動の画策は国家秘密保護法制定、教育改悪等と連動し、今、米軍・自衛隊が公然と県民の前に顔を出そうとしています。

安倍内閣の基本的な施策が国民イジメの政治となつています。

奥村、坂口さんは安倍内閣の消費税の引きあげと社会保

国民イジメの安倍暴走政治や党の実績を訴えて！



宣伝する右から奥村さん、坂口さんと渡辺です

障制度の改悪がどれほど市民、県民に負担をもたらすのか、具体的な数値を挙げ訴えがされました。

私は憲法のこと、また集団的自衛権、TPPのこと等。河西地域の避難道路の新設と拡幅要求のこ

と、山口地区の産業廃棄物埋立計画に反対する大切さ等を訴えました。

かつて梅原地区に計画された「産廃中間処理建設」を中止させたことで、周辺には南海電鉄新駅、「イオンモール」、住宅地化、新規小学校の建設などが進み、また避難道路としての市道「中・平井線」の建設等々、様々なご意見は承知していますが新たな町並みの形成に貢献できたもの、と思つて

います。猛暑の中、私がかまいませんが、女性のお二人には「残酷」な宣伝となり申し訳なく思っています

党市議会議員
渡辺忠広



リレートーク

Relay talk

リレートーク